歯科口腔外科

診療内容・専門分野

口腔内には、口腔感染症（顎炎、峰窩織炎、顎骨骨髄炎など）、口腔腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍）、顎骨嚢胞（歯根嚢胞、含歯性嚢胞など）、外傷（顎骨骨折、顔面外傷、歯の脱臼など）、顎関節疾患（顎関節症、変形性顎関節症など）、口腔粘膜疾患（口内炎、白板症、扁平苔癬など）、顎顔面奇形（口唇裂、口蓋裂など）、顎変形症（下顎前突、上顎前突など）、埋伏歯（親知らず、過剰歯など）など多彩な病変が発症します。歯科口腔外科はこれらの疾患の治療を行っていますが、悪性腫瘍や口唇裂、口蓋裂、顎変形症に関しては、山形大学医学部歯科口腔外科・形成外科および当院形成外科と連携して治療を行っています。

当科では CT、MRI、シンチグラム、歯科用デジタル X 線などの最新の画像診断装置を用いて、的確な診断のもと治療を行います。比較的小さな嚢胞、腫瘍、さらに頻度の高い埋伏智歯などは月、火、木、金の午後に外来で手術を行います。重症例や大きな病変および、埋伏智歯などで深い位置にあるもの、同時に複数の智歯を抜歯する際には、入院して手術することになります。

なお、上記の口腔外科的疾患のほか、全身的な疾患により抜歯などの観血的処置がリスクを伴い、かかりつけ歯科医院では治療が困難な患者さんの治療などにも対応いたします。この際、リスクの程度や治療の内容によっては短期間の入院治療も可能です。

また、むし歯、歯周疾患あるいは外傷などで歯が喪失した場合は、通常ブリッジや義歯を装着して治療します。これらの治療で十分に噛めない場合や、違和感があり義歯が装着できないときは、チタン製人工歯根を用いた歯科インプラントによる治療にも対応しています。

当科では一般的なインプラント治療のみならず、歯槽骨が少ないためにインプラント治療が困難な患者さんに対して骨造成手術（GBR、骨移植術、上顎洞底挙上術など）を行っています。また、腫瘍、顎骨骨髄炎、外傷等により広範囲の歯槽骨・顎骨欠損を生じた症例に対して適用される健康保険によるインプラント治療も行います。

ご紹介いただくにあたって

当科は、主として地域のかかりつけの歯科医院の先生方と連携体制を取り、上記の口腔外科疾患を中心とした治療を行っております。円滑な外来診療のため、必ず事前予約をした上で紹介状を持参していただくようお願い致します。また、依頼治療終了後は、むし歯、歯周疾患、義歯や差し歯などの一般歯科治療に関しては、紹介医、近医にお願いしておりますので、ご理解とご協力をお願いします。